


# 1970年(昭和45年)9月～1971年(昭和46年)1月 の 秋田駒ヶ岳 の 噴火

火山名	災害発生日	災害発生市町村
秋田駒ヶ岳	1970年9月～1971年1月	市町村別の被害の詳細は不明
<b>噴火の経過</b>		
<p>1970年8月末頃女岳山頂付近に新噴気孔が生成。9月15日さらに新しい噴気孔が出現し、9月18日より噴火。以後頻繁に爆発(ストロンボリ式噴火)。溶岩を流出し、1971年1月26日まで続いた。</p> <p>1970年8月29日、中央火口丘の女岳山頂部の古い爆裂火口跡と見られる凹地の縁に3～4箇所の顕著な噴気孔が一登山者によって発見された。最初の噴気は硫黄臭の蒸気が漂う程度のものであったが、付近一帯の高山植物は枯死の状態であった。8月30日には噴気孔の一部に硫黄の昇華物がみられたが、31日以降は昇華物はみられず硫黄臭も薄れたようで、その後、噴気勢力は衰え続けたが、9月15日再び活発化し、後に生ずる噴火口付近に新しい噴気孔が出現した。また、最初に生じた噴気孔の噴気も増大し、翌16日には最初の噴気地帯の一部に亀裂を生じ、その後の噴火開始に至った。</p>		
<b>参考(写真など)</b>		
		
<p>爆発を繰り返す秋田駒ヶ岳 火山弾が飛び散り地鳴りが続く 秋田魁新報社提供 昭和45年9月20日 朝刊</p>		